



日本共産党千代田地区委員会 暮らし・雇用相談室長
日本共産党千代田区議団 事務局長

こんにちは **牛尾こうじろう** です
耕二郎 2010年5月30日 第12号
(部内資料)

ホームページ:「日本共産党牛尾こうじろう」で検索
Eメール: k-ushio@beetle.ocn.ne.jp

住所: 千代田区岩本町1-12-12-301 : 090-2406-7991
事務所: 千代田区神田神保町1-40 : 3294-8411



「安心して医療が受けられる社会を」と宣伝(和泉町)

国民健康保険証のとりあげやめよ 区に申し入れをおこないました

高すぎる国保料が払えず、国民健康保険証を取り上げられる事態が全国で増加しています。

千代田区では約一〇〇〇世帯が国保料を払えず、うち二〇〇世帯に資格証明書が交付されています。資格証明書が交付されると病院の窓口でいったん医療費の十割を支払わなければなりません。そのため、全国では受診を控え病気が重症化したり、なかには死に至る事態が相次いでいます。

五月十二日に私は千代田区議団のみなさんと千代田区長に「国民健康保険証の交付に関する申し入れ」をおこないました。

この申し入れは、国会での小池晃参議院議員の質問に対し、長妻厚生労働大臣が「(保険料が)払えるのに払わないということが証明できた場合以外は(資格証明書の交付)を慎重に取り扱っていたきたい」と答弁を踏まえたものです。

申し入れは、「保険料を払えるのに払わないということが証明できた場合を除いて」保険証を交付すること。低所得世帯については速やかに保険証を交付することです。区は資格証明書を交付している低所得世帯について「実情をつかむようにしていきたい」と述べました。区民の命にかかわることきめ細やかな対応が求められます。

あれやこれや!
牛尾こうじろうの
これが言いたい!



国政を変えることが解決の道

「保育所の待機児を残しておくことは児童福祉法二十四条違反」十八日の保育シンポジウムで村山祐一帝京大学教授がのべていました。二十四条では、父母が仕事などで子どもの保育ができない場合、市町村が保育をしなければならいことを定めています。待機児解消は自治体の義務ということ。ただ、シンポジウムでは国の責任も問題になりました。保育所をつくるには当然お金がかかります。この間、公立保育所の建設数が減っているのは国が公立保育所への補助金を無くしたためです。国がきちんとお金を出すことが必要。十万人分の保育所を建設する費用は千五百億円です。米軍への思いやり予算に千数百億円出すならば、子どもにこそ思いやりを!ではないでしょうか。しかし、民主党政権は子どもの詰め込みで待機児解消しようとしています。私も0歳児の父親です。子どもの未来のためにも参院選で子どもを大事にする国政にするため全力をあげます。

保育所の待機児解決してほしい

保育シンポジウムに行ってきました



深刻な保育所待機児を解消して安心して預けられる保育所をと十八日に開かれた「保育シンポジウム」に参加してきました。

他の自治体の運動やとりくみに関心を持って聞きました。保育所をつくる際に大変なのが用地の確保。世田谷区では学校のグラウンドの一部や公園のテニスコートを半分削って保育所設置をしているとのことでした。国会で保育所の用地に国有

地の提供を求め財務省から前向きな答弁を引き出したことを小池晃参議院議員が報告しました。

千代田区も三十数名の保育所待機児が生まれており解決は待ったなしです。今川中学校跡地への緊急保育施設など区の努力がありますがそれでも待機児は解消されていません。千代田区にも国有地があります。そうした土地が利用できないものでしょうか。

「安心して利用できる介護保険制度を求める」署名にご協力下さい

日本共産党区議団は次回の定例会に向け、低所得者への保険料・利用料減免の拡充や待機児が全て入所できるよう特別養護老人ホームの整備などを求める署名を集めています。

ぜひ、署名にご協力下さい。



青年集会の会場で

青年が安心と希望が持てる社会をつくりましょう

五月十六日明治公園に五二〇〇人の青年が集まり「全国青年大集会」が開かれました。「四月に職場を解雇され、労組に入ってたたかっている」「無法な今の派遣法を変えたい」など、青年の「泣き寝入りせず力を合わせて社会を変えよう」という姿に元気をもらいました。



参議院選挙勝利へ！ 日本共産党演説会が開かれました



会場いっぱい参加者(上)。来年のいっせい地方選の候補者も紹介され、私も壇上にあがりました(右)。

くらしの問題
何でもご相談
下さい

法律相談、生活相談を区内の法律事務所、労働組合などと連携しておこないます。

お気軽にご連絡ください。

090-2406-7991 牛尾